

X 投稿メーカー 操作マニュアル

1. X 投稿メーカーとは

「X 投稿メーカー」は、完成したnote記事から、X（旧Twitter）向けの投稿文を最大4パターン生成するツールです。

生成する切り口は次の4つです。

- 結論型
- 共感型
- 体験・気づき型
- 具体策・判断軸型

記事に十分な材料がない切り口については、内容を推測して無理に投稿を作らない設計になっています。

また、このツールでは運営者側のAI契約を使うのではなく、利用者ご自身のOpenAI / Gemini / ClaudeのAPIキーを使います。

2. 利用の流れ

基本操作は次の通りです。

1. 使用するAIを選ぶ
2. 自分のAPIキーを入力する
3. APIキーの保存方法を選ぶ
4. 使用モデルを選ぶ
5. 「API接続をテスト」を押す
6. note記事本文を貼り付ける
7. note記事URLを入力する

8. 「X投稿を作成」を押す
9. 生成された投稿をコピーして使用する

3. AIを選ぶ

画面上部の「AI設定」で、使用するAIを選択します。

現在選択できるのは、

- OpenAI
- Gemini
- Claude

です。

AIごとにAPIキーが異なります。

たとえばGeminiのAPIキーをOpenAI欄で使うことはできません。

4. APIキーとは？

APIキーは、AIサービスを外部のアプリから利用するための「利用許可キー」です。

イメージとしては、

X 投稿メーカー → あなたのAPIキー → AIサービス

という形で接続します。

APIキーを利用すると、各AIサービスの利用量に応じてAPI料金が発生する場合があります。

なお、通常のChatGPT、Gemini、Claudeのサブスクリプション契約とは、API契約が別になっている場合があります。

5. OpenAI APIキーの取得方法

OpenAIを使う場合は、OpenAI API PlatformでAPIキーを作成します。

[OpenAI API Keysを開く](#)

OpenAI公式では、APIキーの作成・管理はAPI Keysページから行えます。作成したシークレットキー全体を確認できるのは基本的に作成時のみなので、表示されたら安全な場所へコピーしてください。([OpenAI Help Center](#))

作成手順

OpenAIアカウントでログイン後、

1. API Keysページを開く
2. 「Create new secret key」を選択
3. 必要に応じてキー名や権限を設定
4. APIキーを作成
5. 表示されたキーをコピー
6. X 投稿メーカーの「APIキー」に貼り付ける

という流れです。

OpenAIではキーごとに権限を設定でき、「All」「Restricted」「Read Only」などがあります。用途を限定したい場合は、必要最小限の権限を設定できます。([OpenAI Help Center](#))

注意

ChatGPT Plus / Proなどの契約と、OpenAI APIの料金は別です。

ChatGPTを有料契約していても、その契約だけでAPIを自由に利用できるわけではありません。

6. Gemini APIキーの取得方法

Geminiを使う場合は、Google AI StudioからAPIキーを作成します。

[Google AI Studio](#)

Google公式によると、新規利用者はGoogle AI StudioからAPIキーを作成でき、「Create API key」から新しいキーを発行できます。(Google AI for Developers)

作成手順

1. Google AI Studioを開く
2. Googleアカウントでログイン
3. API Keys画面を開く
4. 「Create API key」を選択
5. 作成されたAPIキーをコピー
6. X 投稿メーカーで「Gemini」を選択
7. APIキー欄へ貼り付ける

現在GoogleはGemini APIキーの仕組みを更新しており、2026年9月以降は新しいAuth Keyへの移行が重要になります。Google AI Studioで新規作成されるキーは現在Auth Keyとして作成されるため、新しくキーを作る場合はAI Studioから作成する方法を推奨します。

(Google AI for Developers)

有料枠へ移行する場合はGoogle Cloud Billingの設定が必要になる場合があります。(Google AI for Developers)

7. Claude APIキーの取得方法

Claudeを使う場合は、Anthropic ConsoleでAPIキーを作成します。

[Anthropic Console](#)

Anthropic公式によると、ConsoleからAPIキー作成、請求設定、利用状況確認などを行えます。(Anthropic Help Center)

作成手順

1. Anthropic Consoleへアクセス
2. アカウントを作成またはログイン

3. API Keysの画面を開く
4. APIキーを作成
5. 作成されたキーをコピー
6. X 投稿メーカーで「Claude」を選択
7. APIキー欄へ貼り付ける

Anthropicでは、APIを利用するために利用クレジットの追加や請求設定が必要になる場合があります。([Anthropic Help Center](#))

また、**Claude.ai**の有料プランと**Anthropic API**は別サービスです。Claude Proなどを契約していても、API利用料は別途必要です。([Anthropic Help Center](#))

8. APIキーを入力する

取得したAPIキーを、X 投稿メーカーの「APIキー」欄へ貼り付けます。

入力内容は通常「●●●●●」のように隠れて表示されます。

「表示」ボタンを押すと内容を確認できます。

APIキーを他人に見られる環境では「表示」を使わないでください。

9. APIキーの保存方法

X 投稿メーカーでは、3種類から選択できます。

今回だけ使用

もっとも安全性を優先した設定です。

APIキーはページを開いている間だけメモリ上に保持します。

ページを再読み込みしたり閉じたりすると消えます。

共有PCなどでは、この方法をおすすめします。

このブラウザを閉じるまで

ブラウザの一時保存領域にAPIキーを保存します。

ブラウザの利用セッションが終了すると削除されます。

毎回入力する手間を少し減らしたい場合に向いています。

この端末に保存

ブラウザの保存領域にAPIキーを保存します。

「保存キーを削除」を実行するまで残ります。

自分専用のPC・スマートフォンでのみ使用してください。

共有PC、ネットカフェ、職場の共用端末などではおすすめしません。

10. API接続をテストする

APIキーを入力したら、

「**API接続をテスト**」

を押してください。

正常な場合は、

「**接続できました。**」

と表示されます。

接続できない場合は、

- APIキーが正しいか
- OpenAI / Gemini / Claudeの選択が合っているか
- API側の請求設定が完了しているか
- 使用モデルへのアクセス権があるか
- コピー時に余分なスペースが入っていないか

を確認してください。

11. note記事を入力する

「note記事本文」に、完成したnote記事本文を貼り付けます。

できるだけ公開する記事本文をそのまま貼ることをおすすめします。

記事の一部だけを貼ると、投稿案の精度や切り口が限定されることがあります。

12. note記事URLを入力する

「note記事URL」に、記事のURLを入力します。

例：

`https://note.com/xxxxx/n/xxxxxxxxx`

生成された各投稿の末尾には、

▶ **続きはこちら**：[note記事URL]

が追加されます。

13. X投稿を作成する

記事本文とURLを入力したら、

「**X投稿を作成**」

を押します。

AIが記事を分析し、材料があるものについて最大4種類の投稿を生成します。

たとえば、

結論型

記事で最も伝えたいことを中心にした投稿

共感型

読者が共感しやすい悩みや具体的な場面を中心にした投稿

体験・気づき型

記事内に書かれている筆者自身の経験や気づきを中心にした投稿

具体策・判断軸型

記事に書かれた方法や判断基準を中心にした投稿

です。

記事に材料がない場合は、無理に創作しない仕様になっています。

14. 投稿文を使う

生成された投稿カードには、X換算の文字数が表示されます。

内容を確認して、

「投稿文をコピー」

を押してください。

コピー後、Xの投稿画面に貼り付けて利用できます。

AIによる生成結果なので、**投稿前に必ず本人が内容を確認してください。**

特に、

- 事実関係
- 数字
- 人名
- 意図と異なる表現
- 言いすぎた表現

がないか確認することをおすすめします。

15. 1つだけ作り直したい場合

気に入らない投稿が1つだけある場合は、

「この案だけ再生成」

を使用できます。

4案すべてを作り直さず、その切り口だけ再生成します。

16. AIが混雑している場合

AIサービス側が混雑していると、

「現在このモデルが混雑しています。少し待って再試行するか、別のモデルを選択してください。」

と表示される場合があります。

これはAPIキーの故障ではありません。

その場合は、

「もう一度試す」

または

「代替モデルで再試行」

を利用してください。

代替モデルへの切り替えは自動では行いません。

API料金が発生するため、利用者自身が選択して実行する仕様です。

17. API利用料金について

X 投稿メーカー自体ではAI API利用料を請求しません。

ただし、OpenAI / Google / AnthropicそれぞれのAPIを利用した分について、各社から利用者自身に料金が発生する場合があります。

料金体系や無料枠、利用上限は各社で異なり、変更されることがあります。

各サービスの管理画面で、

- 利用量
- 利用料金
- クレジット残高
- 月額予算
- 利用上限

を確認してください。

18. APIキーを扱う際の重要な注意点

APIキーはパスワードやクレジットカード番号に近い重要情報として扱ってください。

特に以下は避けてください。

APIキーを他人に送らない。

メール、LINE、Slack、SNS、問い合わせフォームなどへAPIキーを書かないでください。

スクリーンショットに写さない。

APIキーが表示された状態で画面を撮影しないでください。

SNSやブログへ掲載しない。

一度公開されたAPIキーは第三者に悪用される可能性があります。

他人のAPIキーを使わない。

必ず自分自身で取得したキーを使用してください。

共有端末へ保存しない。

共有PCでは「今回だけ使用」を選んでください。

OpenAIもAPIキーを他人と共有しないよう明示しています。([OpenAI Help Center](#)) AnthropicもAPIキーをデジタル上の重要な認証情報として扱い、第三者への共有や公開リポジトリへの保存を避けるよう案内しています。([Anthropic Help Center](#))

19. APIキーが漏れたかもしれない場合

「誰かに見られたかもしれない」

「SNSに一瞬掲載してしまった」

「知らない利用料金が発生している」

などの場合は、そのAPIキーをすぐに削除・無効化してください。

その後、新しいAPIキーを作成してください。

OpenAIではAPI Keysページからキーを削除でき、削除したキーは使用できなくなります。

([OpenAI Help Center](#))

Anthropicも、漏洩の疑いがある場合は直ちに該当キーを削除し、新しいキーを作成することを推奨しています。([Anthropic Help Center](#))

X 投稿メーカーで「この端末に保存」を利用していた場合は、

「保存キーを削除」

も実行してください。

20. 安全に使うためのおすすめ設定

初めて利用する方には、次の使い方がおすすめです。

APIキー保存方法

「今回だけ使用」

利用前

「API接続をテスト」

利用後

APIサービス側で利用量を確認

定期的に

不要になったAPIキーを削除

可能なら

APIサービス側で予算・利用上限を設定

この運用にすると、APIキー漏洩や想定外の料金発生リスクを下げられます。

最後に

X 投稿メーカーは、記事内容を勝手に膨らませることではなく、**すでに記事の中にある価値を、別々のX投稿として切り出すこと**を目的としています。

生成された文章は完成品としてそのまま投稿する必要はありません。

ご自身の言葉に少し直したり、普段のX投稿の温度感に合わせてたりしながら活用してください。